

サボテン六高台（サービス付き高齢者向け住宅） 療養デイサービス サボテン オープン半年たちました！

だれもが安心して暮らせる高齢者住宅 サボテン六高台

平成25年3月1日にオープンし、9月末現在ですべてのお部屋で入居者が暮らしています。

3月。盛大に行われた開所式では、「社歌」も披露されました。寒さが和らぐと、さくら通りの桜がみごとに開花。今年はサボテン六高台オープンを祝うかのようによく咲いていました。4月に3階のお部屋が満室となり、6月には2階も10部屋以上が入居となりました。

7月。お誕生日会は毎月行われていますが、大きな行事として「サボテン夏祭り」が行われ、利用者様とご家族様にとっても喜んでいただけました。9月には「敬老会」も行われました。今後は「クリスマス」と「新年会」を企画していく予定です。

その人らしい暮らしを大切に。

利用者様は、一日を自分の部屋や共有スペースで思い思いに過ごします。7時半の朝食のあとも、リビング・ダイニングでTVを見る方、部屋に戻って新聞を読む方などさまざま。一人ひとりに入浴・訪問看



護・リハビリなどのプランがあり、他施設へデイサービスに出かける方もいます。

お昼は12時。10時と3時のお茶は自由参加ですが、食卓は入居者同士のふれあいの場となっています。夕食は5時半。夜は8時前にお休みななる方も多いですが、9時や10時からのTVドラマが楽しみという方もいます。

「一人暮らしの不安がなくなった」「看護師さんもいるので心配事をすぐに相談できる」とは利用者様の声。ご家族様には「以前より笑顔や言葉が多くなった」「安心してお任せしています」と言っただき、職員の励みになっています。サボテン六高台への入居のお問い合わせは、下記までお電話ください。

ご本人もご家族も安らげるデイサービス 療養デイサービス サボテン

利用件数じわじわ増加中。

平成25年4月1日からサービスを開始しました。ALS（筋萎縮性側索硬化症）などの難病や末期がんの方、日常生活で医療的な処置が必要な疾病や障害を抱えた方など、おもに中度・重度の要介護の方に利用していただける療養通所介護です。事業所はサボテン六高台の建物の1階。さくら通りに面した明るく広々としたスペースです。

朝のお迎え～デイサービスでの入浴・排泄・食事などの介護と日常生活のお世話～夕方のお送りまでが一日のスケジュール。機能訓練を希望する方には、アースのリハビリ専門スタッフがサービスを提供します。また、2泊3日の自費宿

泊の受け入れも毎月1回実施。利用者様とご家族様のニーズに応じています。

「楽しみにしている」（利用者様）、「助かっています」（ご家族様）と声をかけていただくと、こちらも笑顔になります。目指すは、どれほど介護が大変な方でも断らない、利用者様とご家族の“希望”であり続けること。サボテン六高台とともに、「気づきと思いやり」に満ちた大きな家をつくっていきます。



■ 株式会社アース 会社概要 ■

平成21年設立。千葉県松戸市を拠点に、「訪問看護サボテン」「ケアマネサボテン」「ケアラサボテン」「サービス付き高齢者向け住宅サボテン六高台」「療養デイサービスサボテン」「ケアマネサボテン六高台」の6事業を運営。「気づきと思いやり」を理念に掲げ、訪問看護、訪問介護、リハビリ、ケアプラン、デイサービス、高齢者住宅の運営等の医療・介護サービスを提供している。http://earth-saboten.co.jp

お問い合わせ

●株式会社アース ☎047・393・8934

●訪問看護サボテン ☎047・311・8886

●ケアマネサボテン ☎047・311・3018

●ケアラサボテン ☎047・701・7602

●サービス付き高齢者向け住宅 サボテン六高台 ☎047・393・8934

●療養デイサービスサボテン ☎047・389・8552

●ケアマネサボテン六高台 ☎047・311・8807



開所式ではアースの社歌が披露されました。

「気づきの種 思いやりの花」

作詞：船後靖彦 作曲：大津弘之 編曲：金子みも

船後取締役（車椅子）と
作曲者の大津氏（右端）

1

こぼす涙は わたしたちが拾います
ありがとうはいりません
それは わたしたちが 言うべき言葉
微笑むあなたに 幸せ感じ
向日葵は 陽（ひ）を追い見渡し気づき
語りかけます 日にひとつ
向日葵の心を あなたへと
気づきの種を あなたへと
あなたは なたらしく
生きてきたからこそ 今日が来て
そして続きは わたしたちに もたれて
もたれて もたれて 下さい

2

ながす涙は わたしたちが拭（ぬぐ）います
ありがとうはいりません
それは わたしたちに 言わせて下さい
語るあなたに 自分を感じ
葉桜の 若さが松戸に満ちて
幕があきます 一日中
葉桜の血潮を あなたへと
思いやりの葉 あなたへと
あなたは なたらしく
生きてきたからこそ 明日（あす）見ます
これからの日は わたしたちに 頼って
頼って 頼って 下さい

3

あなたの夢は わたしたちが語ります
見て下さいあの家を
あれは わたしたちが 作った宇宙
夢あるあなたの 心を満たす
サボテンは 陽（ひ）をうけ水無く育ち
花をつけます 純白の
サボテンの心を あなたへと
思いやりの花 あなたへと
あなたは なたらしく
生きてきたからこそ 光ります
その未来を わたしたちに たくして
たくして たくして 下さい
あなたは なたらしく
生きてきたからこそ 光ります
その未来を わたしたちに たくして
たくして たくして 下さい

佐塚社長が東京新聞に掲載されました！

平成25年9月25日 <キラリ人生>より抜粋

心寄り添う理想郷 看護師から介護看護施設の経営へ

千葉県松戸市の「サボテン六高台（ろっこうだい）」は、末期がんや難病患者を進んで受け入れる、サービス付き高齢者住宅（サ高住）では全国でも数少ない存在として知られる。全身の筋肉が衰えていく筋萎縮性側索硬化症（ALS）のため自発呼吸ができなくなって気管切開をされ、いつ人工呼吸器が必要になるかわからない患者にも、スタッフの懸命の看護が続く。

切り盛りするのは、看護師から施設経営者へ転じた佐塚みさ子さん（52）。介護関連事業を運営する株式会社「アース」の代表取締役だ。「2009年に起業して最初に取り組んだのが訪問看護。その経験の中で、重度の患者さんを受け入れる施設やデイサービスがない現実を知り、がくぜんとしました。私が施設に繰り返しお願いしてもダメ。病気の重さで差別されない施設を自分たちでつくるしかない、と覚悟を決めました」

佐塚さんの両親はろうあ者。子どもの頃はいじめられた。重く悲しい当時の体験が、今の仕事に直結している。「どうして差別する人とされる人がいるの？ 生まれたときはみんな同じ裸なのに」。心の中で「大人になったら、弱い人、貧しい人、体が動かない人を守る大きなおうちをつくらう！」という夢を温めていた。

志は高かったが家計は厳しかった。中学卒業後は学費免除の准看護師学校へ進み、病院に就職。しかし、日々の勤務で感じたのは、一人一人の患者にきめ細かく寄り添えない病院医療の限界だった。

もっと深く医療や看護を学び、患者に寄り添いたい。そう決意し、子育てが落ち着いた40歳過ぎに正看護師学校の門をたたいた。介護専門員の資格と大学入学資格検定（当時）も取得した。

そして40代後半、それまでに蓄えたお金で会社を興し、訪問看護サービスをスタート。4年間でケアマネジャー事務所、ヘルパー事務所、サ高住と療養デイサービスの開設と事業を拡大してきた。

昨年6月には、訪問看護で知り合ったALS患者の船後靖彦（ふなごやすひこ）さん（56）を取締役に迎えた。船後さんの意見を患者本位の看護と介護という業務に役立てるためだ。船後さんは奥歯を使って打ち込むパソコンメールなどで、必要なアドバイスをスタッフに伝えている。

「将来は、訪問看護体制を敷く医療施設を創設したい。病後児を受け入れる保育園も」とやりたいことが次々頭に浮かぶという佐塚さん。自分も会社も成長の途中。医療と看護の理想郷を真つすぐに目指す。



代表取締役 佐塚みさ子

（取材：加藤木信夫記者）